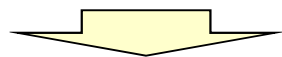


1. 前回検討会の振り返り等

1. 前回検討会での主な意見

分類	番号	主な意見
バス・タクシー	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要バス数については、ピークだけで考えず、バス需要の時間差を踏まえた運用計画を考えるべきである バス利用者のニーズを踏まえた運行計画と整合する形で、必要バス数を検討してほしい
	2	<ul style="list-style-type: none"> タクシーショットガンの待機場所については、ピーク時の対応を踏まえて検討する必要がある
各種交通動線	3	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者動線については、デッキを介することによる上下移動の抵抗に対する検討も必要である
	4	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の通行空間については、次世代モビリティとの共存や歩行者の安全確保、移動制約者の円滑性の確保の観点から、基本的には車道内での確保が望ましい 併せて、交通結節点や駐輪場までの移動経路を考慮した駐輪場等の施設配置等の検討が必要である
	5	<ul style="list-style-type: none"> 一般車両の送迎や駐車場についても、全体の中でどこに配置していくかを考える必要がある
	6	<ul style="list-style-type: none"> 地下空間の活用については、鉄道に近接した立地であることを踏まえ、慎重に議論する必要がある
導入機能	7	<ul style="list-style-type: none"> 空間的な制約が強いため、機能分担の検討時に空間条件も同時に検討していくべきである
	8	<ul style="list-style-type: none"> 交流機能の指標として、必需性・公益性・拠点間連結性に加え、駅前にあることに着目して検討してはどうか 駅前に必要なもの・沿道に必要なものを分析し、駅ビルや隣接する再開発の棲み分けを検討できるとよい
	9	<ul style="list-style-type: none"> 賑わい空間については、イベントの規模や誰がいつ利用できるのか等により、必要なスペースや動線、配置位置（階層）も変わるため、運用方法もセットで考えていく必要がある
	10	<ul style="list-style-type: none"> 機能の検討に際し、人々のアクティビティを詳細に把握したうえで優先順位を検討していくべきではないか
防災関連	11	<ul style="list-style-type: none"> 情報拠点には様々な人が集まるため、滞留スペースを限られた空間の中でどう確保する検討が必要である
鷹取川関連	12	<ul style="list-style-type: none"> 賑わいのあるまちづくりとして水辺利用や被災時の活用も視野に入れて検討してほしい
全体	13	<ul style="list-style-type: none"> えき・まち・みちデザインセンターについては、当初に組織の目的をはっきりさせることが必要である



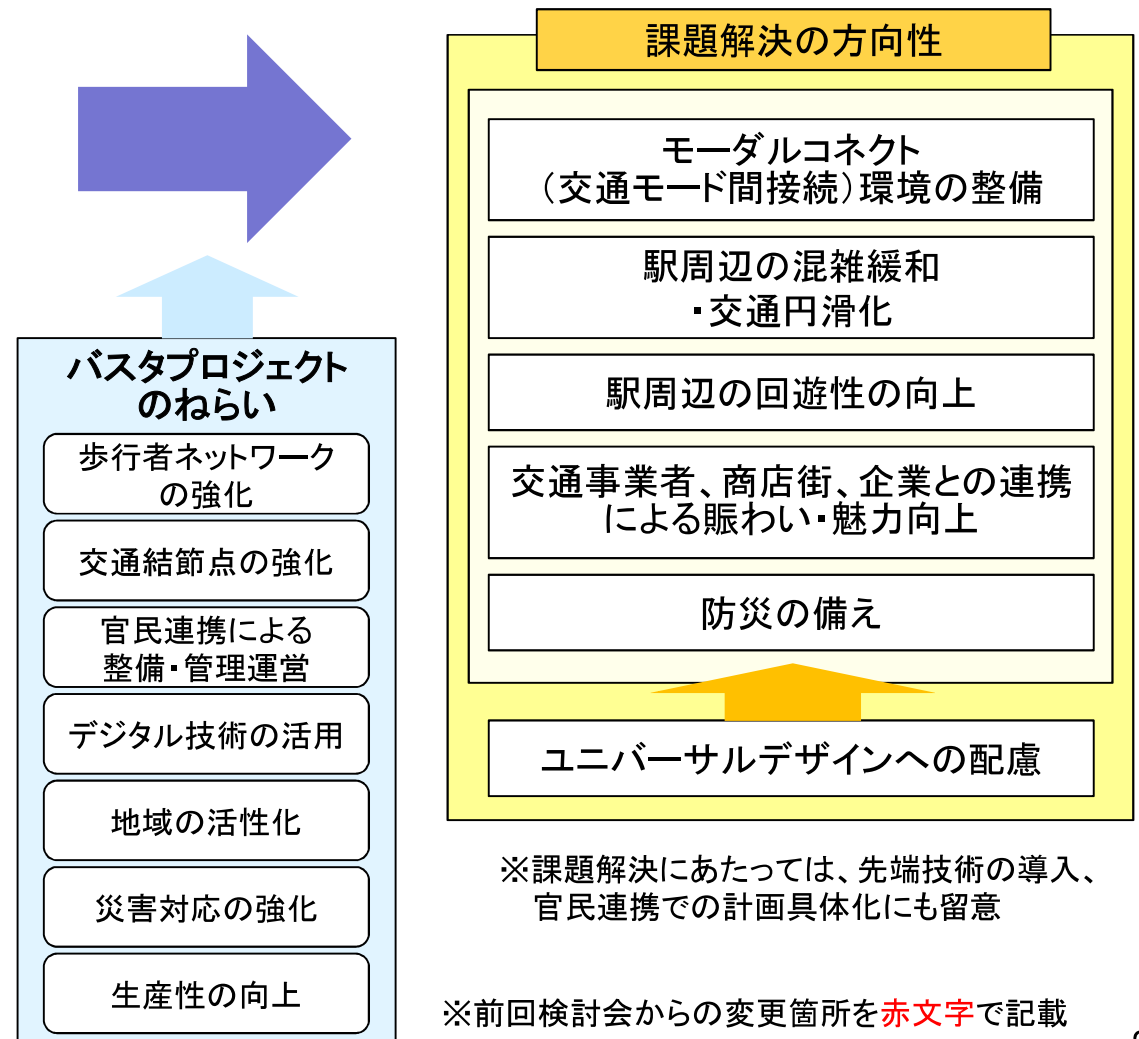
今回の事業計画（案）に反映可能なものは反映
 施設配置・動線計画の詳細等に係る指摘については、今後の検討の深度化において反映

2. 追浜駅周辺のポテンシャルと課題・関連事業を踏まえた課題解決の方向性

- まちのポテンシャルや課題を踏まえつつ、関連事業と連携しながら、課題解決を図ります。
- 駅周辺の交通結節機能を高めるとともに、回遊性や賑わいの向上・防災力の強化を図ります。

■追浜駅周辺のポテンシャルと課題・関連事業との連携

「まち」のポテンシャル
<ul style="list-style-type: none"> 自動車や造船を中心とする産業が活発で、若い世代の人口が増加している地域 スポーツ施設や商店街等の賑わい拠点がある
課題
<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場が狭く、車両や歩行者が錯綜 バス・タクシー乗降場が道路上に分散 駅直近駐輪場は満車、空き駐輪場は駅から遠い 追浜駅前交差点周辺における右折待ち車両や荷捌き車両による交通障害、高い事故率 歩行者デッキ上の段差の存在 バスの待ち行列による商店街歩行空間の減少 地域に点在する公共施設等の老朽化の進行 避難所が駅から離れている 駅東西方向の接続性・連携に課題あり 追浜以南では急傾斜地が多く、災害発生リスクが高い
関連事業との連携
<ul style="list-style-type: none"> 広域交通(R357)の利便性向上による交通量の増加 再開発・スポーツ施設整備による来街者の増加 交差点改良・市道追浜夏島線による道路空間の拡充

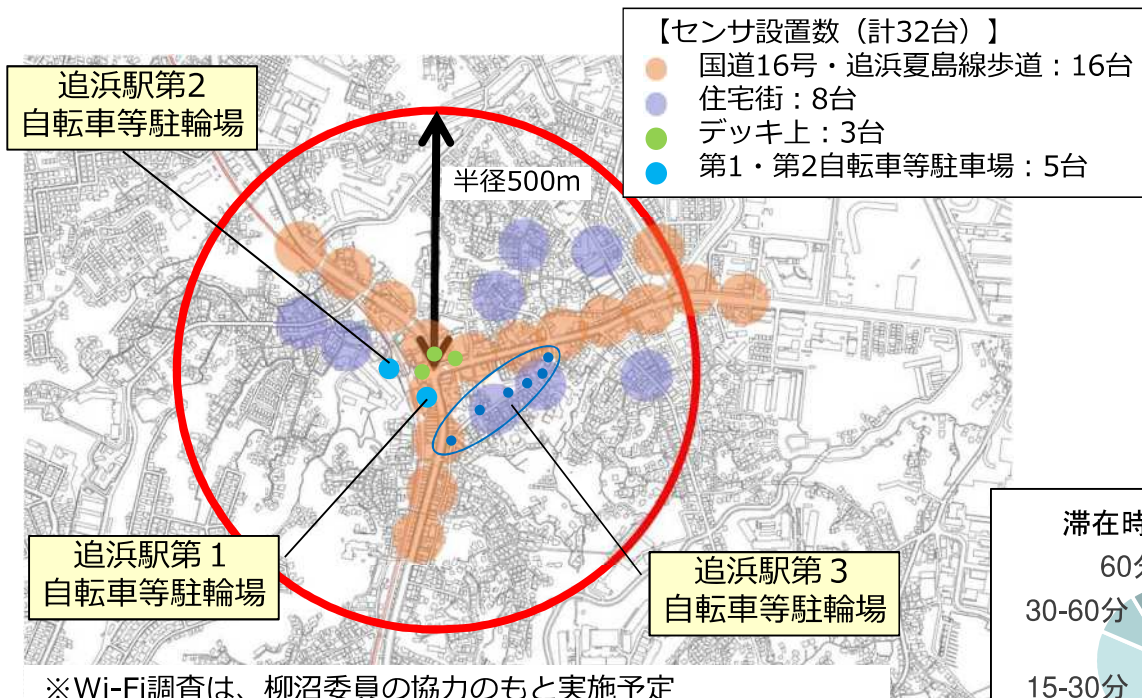


3. 追浜駅周辺における人流の把握

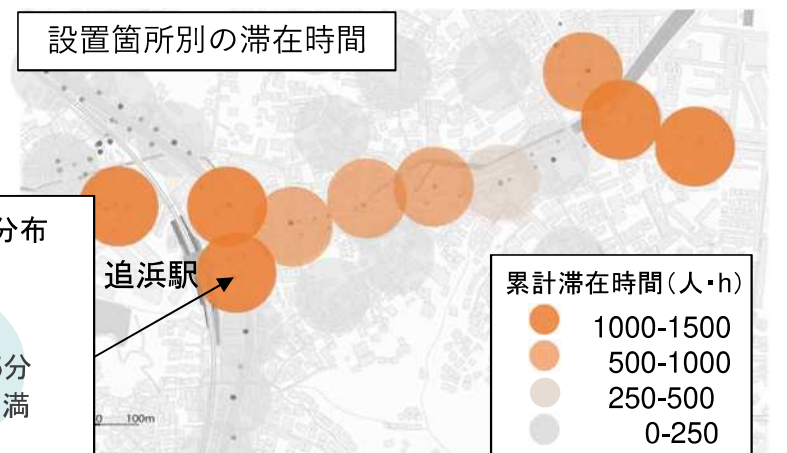
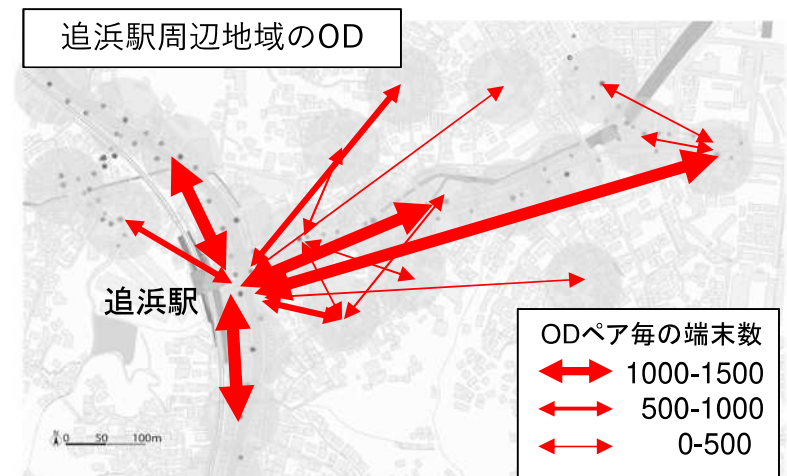
- Wi-Fiセンサを面的に設置し、追浜駅周辺概ね半径500m圏での人の動き（どこからどこへ、どのルートを通ったか、どこに滞在していたか）を把握し、その結果を踏まえた詳細検討を行う予定です。
- Wi-Fiセンサでは、地上とデッキの通行の判別や交通手段の判別が難しい可能性を踏まえ、補完として駅前ビデオカメラを設置し、通行位置別の状況を把握します。

■調査対象範囲とWi-Fiセンサ設置予定地

- ・調査日：緊急事態宣言解除後に実施（予定）
- ・調査時間：7:00～22:00
- ※デッキ上の歩行者の把握のため、デッキ部にもWi-Fiセンサを設置
- ※追浜駅第1・第2自転車等駐輪場については、各フロアにWi-Fiセンサを設置し、自転車利用者を判別する（第3自転車等駐輪場については平置き駐輪場で判別不能なため除外）



■分析イメージ



※Wi-Fi調査は、柳沼委員の協力のもと実施予定
 ※Wi-Fiの代わりにBluetoothで実施することも検討中

地図出典：国土地理院 数値地図情報

4. WEBアンケート調査結果(速報)

【調査目的】利用者目線から、現状・課題を抽出するとともに、駅前に求める機能を把握する

【調査対象】直近1年以内に追浜駅を1回以上利用したことのある、満18歳以上の男女

【調査方法・時期】WEBアンケート (R3.1.8~14)

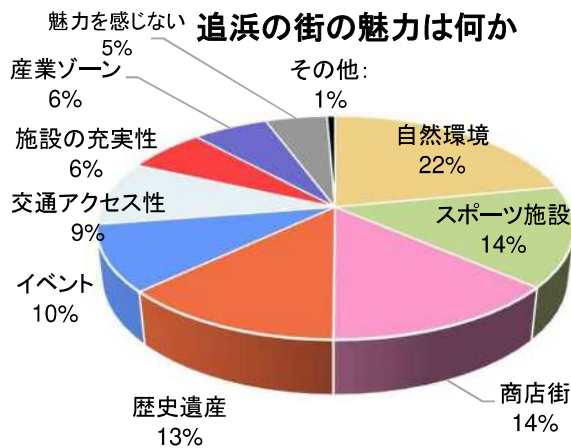
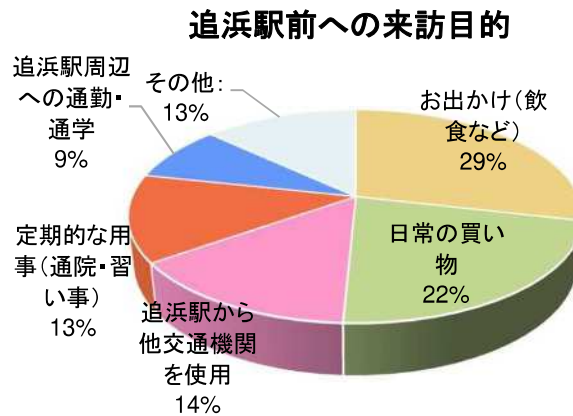
【対象エリア・サンプル数】追浜エリア (N=200)、東京・神奈川県エリア(N=300)

■アンケート調査項目	
回答者自身に関する事項	①性別 ②職業 ③年齢 ④自動車の運転頻度
現状の追浜に関するご意見	①追浜駅への来訪頻度 ②来訪目的 ③来訪手段 ④利便性 ⑤利用する時間帯 ⑥追浜のまちの魅力
追浜駅前にほしい機能	①駅前の施設に必要な機能 ②災害時に備えるべき防災機能

■回答者に関する事項

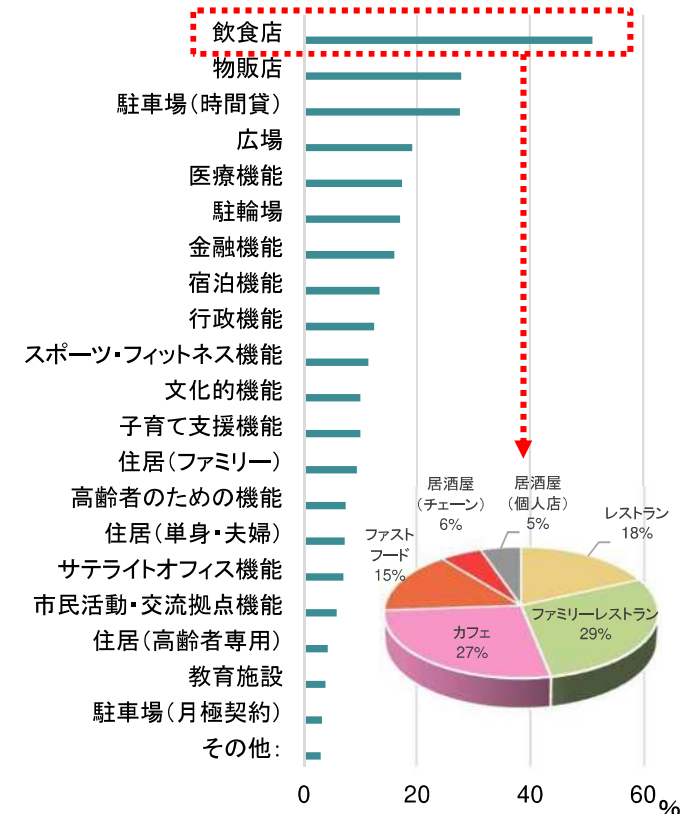
◆男女比率	男：女=7：3	
◆職業内訳	会社員	…56.0%
	公務員	… 5.0%
	自営業・自由業	… 6.6%
	専業主婦・主夫	… 7.8%
	学生	… 1.2%
	パート・アルバイト	… 9.8%
	無職	…12.2%
	その他	… 1.4%

■現状の追浜駅前に関する意見



■将来の追浜駅前に関する意見

追浜駅前の施設に必要なと思う機能



今後、回答者属性毎のクロス分析等も踏まえ、追浜駅前に求められる機能等について、さらに検討を深める